

# 環境報告書

2018 年度

(2018 年 11 月 1 日～2019 年 10 月 31 日)



2019 年 12 月 30 日

## 1. 組織の概要

事業所名	株式会社 クリーンライフ
代表者氏名	代表取締役社長 阿部 幸江
事業内容	産業廃棄物の収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬 産業廃棄物処分(中間処理)、一般廃棄物の収集運搬
資本金	30,000,000 円
沿革	1999年1月 株式会社クリーンライフ 設立
	1999年10月 産業廃棄物収集運搬業許可 取得
	2010年5月 産業廃棄物処分業許可 取得
	2013年2月 みちのくEMS 認証取得 認証登録番号 12019
売上高	160,002,182 円(2017年度)
従業員数	20名(内 パートタイマー7名を含む)

事業所	本社事業本部	大和積替え保管ヤード	登米工場
施設(許可)	積替え保管施設 中間処理施設 (破砕)	積替え保管施設	中間処理施設 (破砕・溶融固化)
所在地	宮城県富谷市ひより台2 丁目1番地2	宮城県黒川郡大和町小 野字岩倉45番1	宮城県登米市迫町佐沼 字中江4丁目12-9
敷地面積	2925.68 m <sup>2</sup>	783.44 m <sup>2</sup>	701.18 m <sup>2</sup>
延床面積	446.04 m <sup>2</sup>	—	326.44 m <sup>2</sup>
人員	18	無人	2名
備考		現在使用していない	

## 2. 許認可一覧と処理能力

### 2.1 産業廃棄物処分業

許可行政:宮城県 許可番号:00423064828 有効期限:27年12月21日~34年12月20日

[ 富谷工場 ]

品目	処理方法	処理能力
廃プラ	破砕	1.984 トン/日
紙くず	破砕	1.488 トン/日
木くず	破砕	2.120 トン/日
繊維くず	破砕	0.992 トン/日
ゴムくず	破砕	2.480 トン/日
金属くず	破砕	4.248 トン/日
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕	4.248 トン/日
がれき類	破砕	14.320 トン/日(アイ)

	ン) 1.200 トン/日(プラコ ー)
--	----------------------------

[ 登米工場 ]

品目	処理方法	処理能力
廃プラ	破碎	1.984 トン/日
紙くず	破碎	1.488 トン/日
木くず	破碎	2.120 トン/日
繊維くず	破碎	0.992 トン/日
ゴムくず	破碎	2.480 トン/日
金属くず	破碎	4.248 トン/日
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破碎	4.248 トン/日
がれき類	破碎	1.200 トン/日
廃プラ	熔融固化	0.20 トン/日

2.2 産業廃棄物収集運搬業許可

(9) 収集運搬業許可保有一覧表

都道府県及び政令都市	積保の有・無	許可取得年月日	有効期限	許可番号	優良	廃棄物の種類																備考 施設の所在地			
						燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	瓦さい	がれき類	ほいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動物の死体		動物のふん尿	動物の骨	水銀含有ほいじん等
産業廃棄物収集運搬業	宮城県	有	平成28年10月5日	平成35年10月4日	00413064828	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●									所在地：宮城県宮谷市ひより台2丁目1-2 宮城県黒川郡大和小野字岩倉4.5番1
	山形県	無	平成26年11月24日	平成31年11月23日	0609064828					○	○	○	○	○	○									所在地：宮城県宮谷市ひより台2丁目1-2 宮城県黒川郡大和小野字岩倉4.5番1	
	岩手県	無	平成29年7月26日	平成34年7月25日	00300064828					○	○	○	○	○	○									所在地：宮城県宮谷市ひより台2丁目1-2 宮城県黒川郡大和小野字岩倉4.5番1	
	福島県	無	平成27年9月7日	平成34年7月20日	00707064828	○				○	○	○	○	○	○									所在地：宮城県宮谷市ひより台2丁目1-2 宮城県黒川郡大和小野字岩倉4.5番1	
	秋田県	無	平成29年7月31日	平成34年7月30日	00506064828					○	○	○	○	○	○									所在地：宮城県宮谷市ひより台2丁目1-2 宮城県黒川郡大和小野字岩倉4.5番1	
	青森県	無	平成29年10月15日	平成34年10月14日	00201064828					○	○	○	○	○	○									所在地：宮城県宮谷市ひより台2丁目1-2 宮城県黒川郡大和小野字岩倉4.5番1	
特別管理産業廃棄物収集運搬業	宮城県	有	平成26年10月2日	平成33年10月1日	0463064828	○		●	●															所在地：宮城県黒川郡大和小野字岩倉4.5番1	
	岩手県	無	平成30年6月15日	平成35年6月18日	00350064828			○	○															所在地：宮城県黒川郡大和小野字岩倉4.5番1	

●・・・積替え又は保管行為を含む。○・・・積替え又は保管行為を除く。

2.3 一般廃棄物処理業

行政	許可取得日	有効期限	取扱品目
大和町	令和元年7月12日	令和元年7月14日から 令和元年7月13日	事業系一般廃棄物 (可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ)

2.4 積替え保管

所在地	宮城県富谷市ひより台 2 丁目 1 番地 2	宮城県黒川郡大和町小野字岩倉 45 番 1
面積	2925.68 m <sup>2</sup>	783.44 m <sup>2</sup>
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器 くず、がれき類、繊維くず 廃プラスチック(石綿含有産業廃棄物) がれき類(石綿含有産業廃棄物) ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿 含有産業廃棄物)	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 金属くず、がれき類 廃プラスチック(石綿含有産業廃棄物) がれき類(石綿含有産業廃棄物)
保管上限	101.74 m <sup>3</sup>	122.435 m <sup>3</sup>
特別管理産業廃棄物の種類		廃油、廃酸、廃アルカリ
保管上限		3.8 m <sup>3</sup>
許可行政	宮城県	宮城県

2.5 一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理廃棄物の運搬車両の種類(形式)と台数、処理実績

廃棄物の種類	車両の種類	台数	実績		
			2016 年度	2017 年度	2018 年度
一般廃棄物	アームロール	3 台	43.010 トン	31.710 トン	81.680 トン
	平ボディ車(2t車含む)	5 台			
	2tダンプ	1 台			
産業廃棄物	ダンプ 2t	1 台	2084.41 トン	1929.92 トン	1861.975 トン
	キャブオーバー2t	1 台			
	キャブオーバー4t	3 台			
	キャブオーバー10t	1 台			
	脱着装置付コンテナ専用車 4t	3 台			
特別管理廃棄物	ダンプ2t	1 台	0 トン	0	0 トン
	キャブオーバー2t	1 台			
	キャブオーバー4t	3 台			
	キャブオーバー10t	1 台			
	脱着装置付コンテナ専用車 4t	3 台			

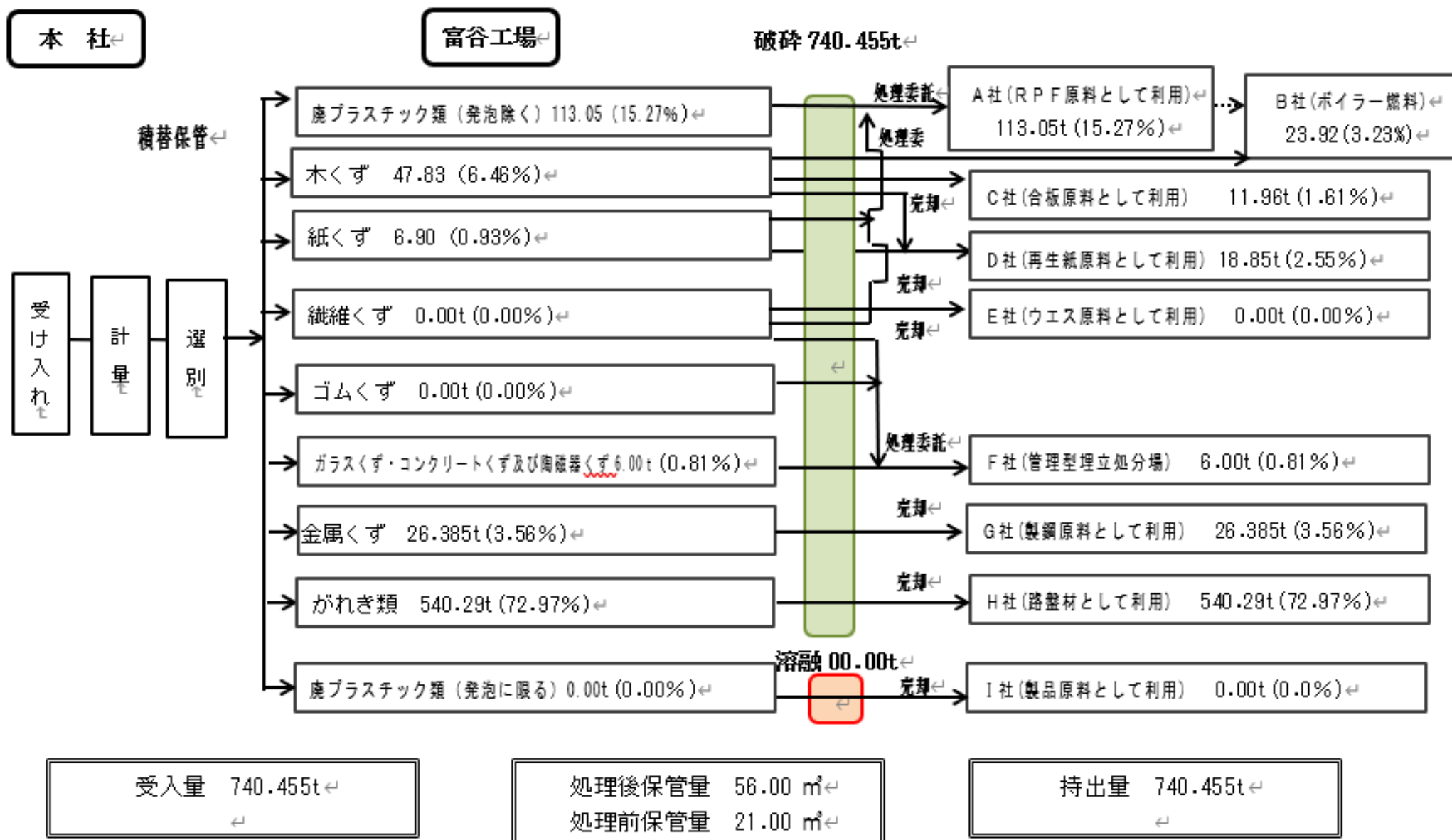
2.6 中間処理施設の種類及び処理能力(単位ト)

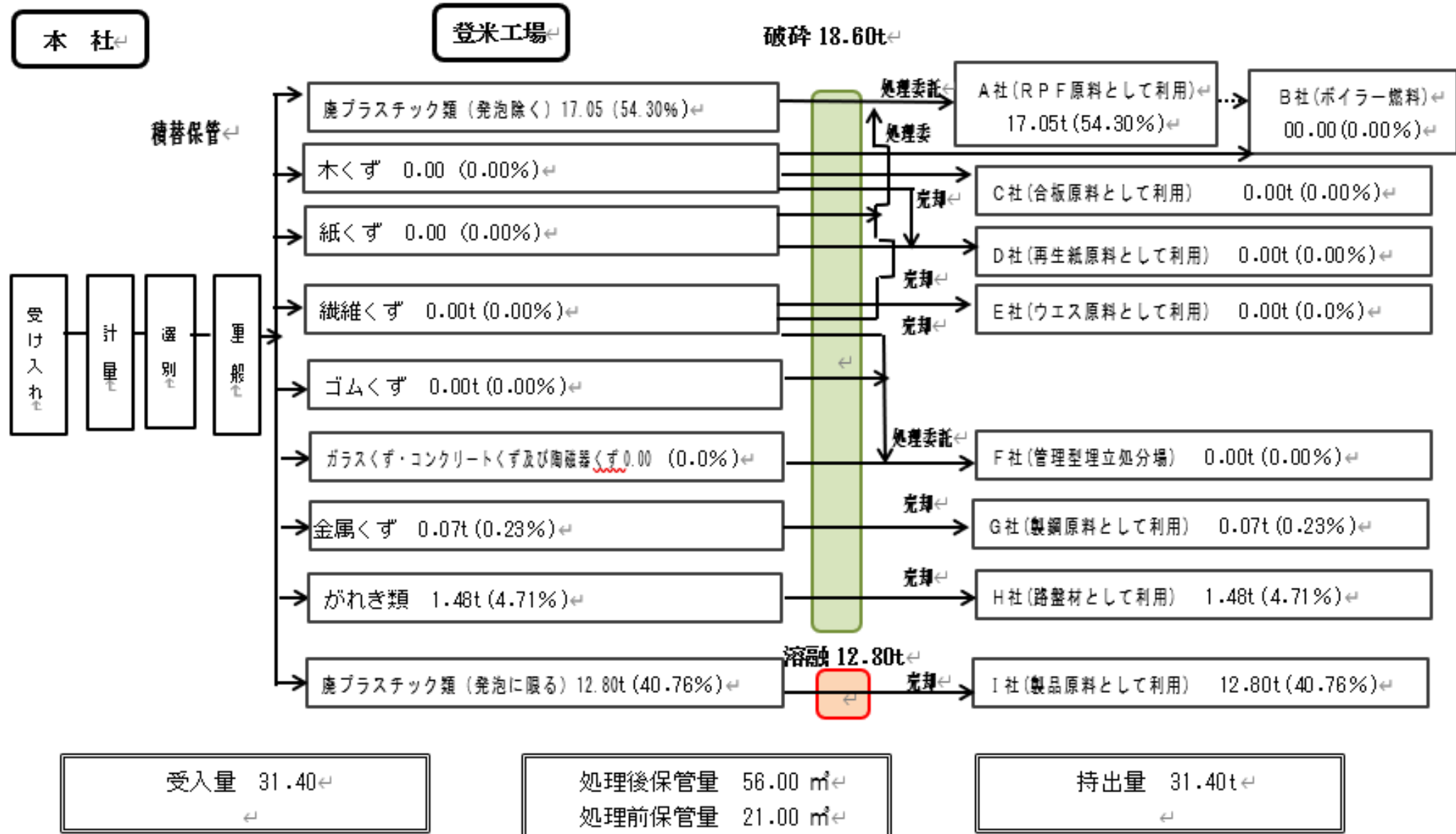
[ 富谷工場 ]

品目	処理方法	処理施設	処理能力	2016年度	2017年度	2018年度
廃プラ	破碎	破碎機・プラコー (一軸式破碎機 RZS-1000G型) 破碎機・アイン工 機(油圧式圧縮 破碎方式リバイ ブマンⅢ) 重機 (コマツ・PC- 30MR2) フォークリフト TCM/ニッサン	1.984 ト/日 (8時間稼働)	0.000	70.400	113.050
紙くず	破碎		1.488 ト/日	0.000	4.500	6.900
木くず	破碎		2.120 ト/日	0.000	18.680	47.830
繊維くず	破碎		0.992 ト/日	0.000	0.120	0.000
ゴムくず	破碎		2.480 ト/日	0.000	0.000	0.000
金属くず	破碎		4.248 ト/日	0.000	5.150	26.385
ガラスくず・コン クリートくず及 び陶磁器くず	破碎		4.248 ト/日	0.000	2.000	6.000
がれき類	破碎	14.320 ト/日(アイ ン) 1.200 ト/日(プラ コー)	0.000	112.470	540.290	

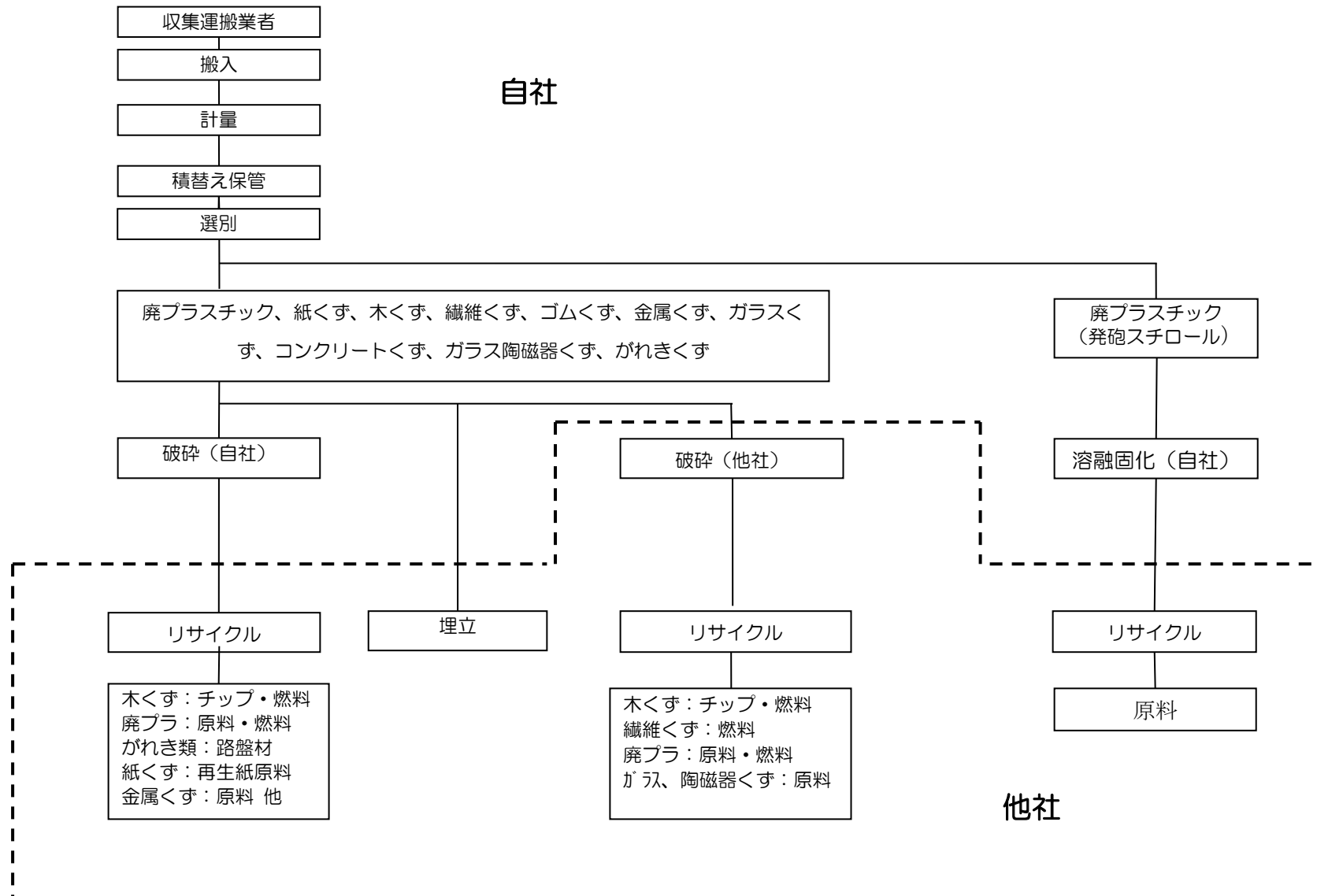
[ 登米工場 ]

品目	処理方法	処理施設	処理能力	2016年度	2017年度	2018年度
廃プラ	破碎	破碎機・プラコー (一軸式破碎機 RZS-1000G型) フォークリフト (トヨタ・52- 8FD25)	1.984 ト/日 (8時間稼働)	156.500	59.710	17.050
紙くず	破碎		1.488 ト/日	9.900	1.500	0.000
木くず	破碎		2.120 ト/日	144.950	22.210	0.000
繊維くず	破碎		0.992 ト/日	0.000	0.000	0.000
ゴムくず	破碎		2.480 ト/日	0.000	0.000	0.000
金属くず	破碎		4.248 ト/日	35.020	7.490	0.070
ガラスくず・コン クリートくず及 び陶磁器くず	破碎		4.248 ト/日	10.170	4.000	0.000
がれき類	破碎		1.200 ト/日	161.400	92.400	1.480
廃プラ (発泡スチロール)	溶融 固化	山本製作所 (RE-E200)	0.20 ト/日 0.025t/h、8時間/日	14.880	13.180	12.800





2.8 処理工程図





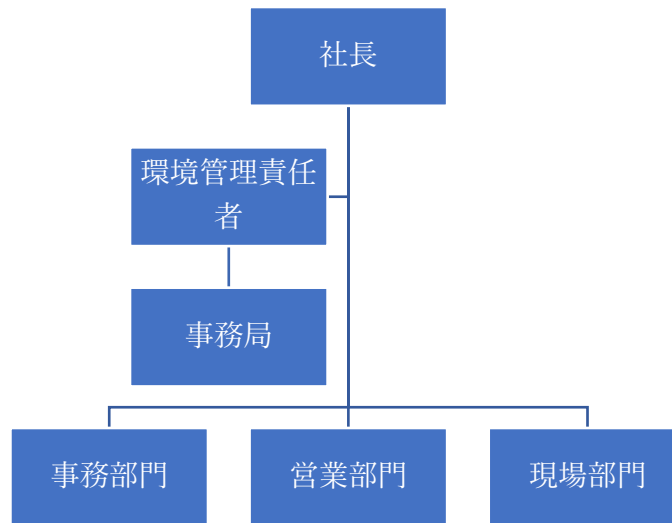
## 2.9 最終処分場所、方法及び処理能力

最終処分先の番号	事業場の名称	所在地	処分方法	施設の処理能力
第0443004971号	宮城県環境事業公社 クリーンプラザみやぎ	宮城県黒川郡	管理型 陸上埋立	埋立容量10,726,000m <sup>3</sup>

## 3 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

## 4 環境活動の取り組み体制



環境管理責任者:鈴木 謙二

担当者連絡先 : (株)クリーンライフ (TEL:022-343-7981 FAX:022-343-7982)

## 4.2 登録対象

### 4.2.1 登録内容

みちのくEMS登録証:

登録日 :2013年 2月 28日

登録期限:2020年 2月 27日

登録番号:みちのくEMS 12019

### 4.2.2 登録範囲

産業廃棄物、特別産業廃棄物並びに一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の処分、解体工事業、外構工事業・土木工事業及びこれらに付随する一切の業務

### 4.2.3 対象事業所

本社事業本部 宮城県富谷市ひより台二丁目1番地2

積替え保管施設 宮城県富谷市ひより台二丁目1番地2

宮城県黒川郡大和町小野字岩倉 45番 1(無人)

中間処理施設 宮城県登米市迫町佐沼字中江四丁目12番9

宮城県富谷市ひより台二丁目1番地2

## 株式会社クリーンライフ 環境方針

### 基本理念

株式会社クリーンライフは、地球環境問題を人類永遠の課題と捉え、関る全員がこの共通の意識のもとに、社内外におけるあらゆる活動を通して、環境負荷の低減、環境保全の実現のために積極的に努力する。

### 基本方針

1. 株式会社クリーンライフは、産業廃棄物収集・処分・資源物買取を通じて、社会に対して環境保全の取り組みを積極的に展開する。
2. 当社の活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、以下の項目に取り組み、汚染の予防ならびに継続的改善に努める。
  - ① コピー用紙の使用枚数の削減
  - ② 消費エネルギー使用量の削減(電気・水・軽油・ガソリン)
  - ③ 廃棄物排出量の削減
  - ④ グリーン購入の推進
  - ⑤ 清掃活動の推進
3. 環境方針の達成のため環境目的と目標を定め、一致協力してその達成に努める。目的と目標は定期的に見直す。
4. 環境側面に関する法規制、及びその他の要求事項を順守する。
5. この環境方針は、当社社員及び当社に係る全員に周知するとともに、一般にも開示する。

2014年 11月 1日

株式会社クリーンライフ

代表取締役 阿部 幸江

4.4 環境目的・環境目標

目的	基準年度 2016年	目標	目標		
			2017年度 2017年11月1日 ～ 2018年10月31日	2018年度 2018年11月1日 ～ 2019年10月31日	2019年度 2019年11月1日 ～ 2020年10月31日
二酸化炭素排出量の削減への貢献	22,184kgCO2 40,116kwh	電気使用量 前年度比110%以内 来期以降は今年度 比で1%削減	24,402kgCO2 44,128kwh	24,158kgCO2 43,687kwh	23,917kgCO2 43,250kwh
			【実績】 23,304kgCO2 42,142kwh	【実績】 23,219kgCO2 41,989kwh	【実績】 kgCO2 kwh
二酸化炭素排出量の削減への貢献	107,522kgCO2 41,675 リットル	燃料使用量 前年度比1%削減	106,447kgCO2 41,258 リットル	105,383kgCO2 40,845 リットル	104,329kgCO2 40,437 リットル
			【実績】 104,608kgCO2 40,546 リットル	【実績】 100,217kgCO2 38,844 リットル	【実績】 kgCO2 リットル
再資源化及び再利用率への貢献	10,171kg	埋め立て量 前年度比1%削減	10,069kg	9,968kg	9,868kg
			【実績】 6,004kg	【実績】 5,901kg	【実績】 kg
資源の有効活用	39,189 枚	コピー用紙の使用量 前年度比1%削減	38,799 枚	38,411 枚	38,025 枚
			【実績】 38,744 枚	【実績】 38,281 枚	【実績】 枚
資源の有効活用	727 m <sup>3</sup>	水の使用量 前年度比1%削減	720 m <sup>3</sup>	713 m <sup>3</sup>	706 m <sup>3</sup>
			【実績】 632 m <sup>3</sup>	【実績】 605 m <sup>3</sup>	【実績】 m <sup>3</sup>
環境保全に貢献	8 品目	グリーン購入 前年度比1品目増加	9 品目	10 品目	11 品目
			【実績】 9 品目	【実績】 10 品目	【実績】 品目
環境保全に貢献	48 回	清掃活動	48 回	48 回	48 回
			【実績】 48 回	【実績】 48 回	【実績】 回

CO2 排出係数: 東北電力(2016年実績)0.553kg-CO2/kWh

軽油 2.58

#### 4.5 環境目的・環境目標と実績(環境マネジメントプログラム)

##### 2018 年度環境活動実績

環境目的	目標	具体的方策	目標(数値)	実績値	評価
二酸化炭素排出量の削減への貢献	電気使用量 前年度比 1% 削減	部分消灯 空調温度設定(夏季 28 度, 冬季 22 度) 電光看板, 外灯の点灯時間 見直し	24,158kgCO2 43,687kwh	23,219kgCO2 41,989kwh	A
二酸化炭素排出量の削減への貢献	燃料使用量 前年度比 1% 削減	アイドリングストップの推進 エコドライブの推進	105,383kgCO2 40,845 リットル	100,217kgCO 2 38,844 リットル	A
再資源化及び再利用への貢献	廃棄物排出量 前年度比 1% 削減	再資源化の促進	9,968kg	5,901kg	A
資源の有効活用	コピー用紙の使用量 前年度比 1% 削減	裏紙の利用 電子メールの活用 会議・打合せのホワイトボードの活用によるペーパーレス化	38,411 枚	38,281 枚	A
資源の有効活用	水の使用量 前年度比 1% 削減	節水活動(洗車・散水)	713 m <sup>3</sup>	605 m <sup>3</sup>	A
環境保全に貢献	グリーン購入 前年度比 1 品 目増加	グリーン購入対象製品の購入	10 品目	10 品目	A
環境保全に貢献	清掃活動	施設外の清掃活動の実施 宮城県産業廃棄物協会主催の清掃活動への参加	48 回	48 回	A

評価記号A:良好(100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

#### 5 具体的環境活動の評価

☆電力使用量の削減では、照明の部分消灯やこまめにスイッチ OFF を実行した。午前中は、事務所の照明は 3 分の 1 は消灯した。空調設備についても適正温度設定(夏季 28℃, 冬季 22℃)の管理を環境管理責任者が定期的にチェックを行った。電光看板の夜間消灯と外灯の点灯時間見直しを実施し、節電を徹底した。

☆燃料削減については、アイドリングストップとエコドライブを徹底した。また、例年通り、車輛の点検・整備等も徹底した。効率的な回収経路を考え、ロスを少なくすることに努めた。

☆埋め立て排出量の削減については、昨年に引き続き、分別の徹底など再資源化の意識を高めた。分別の徹底は、ミックスメタルの引き取りが厳しくなっている状況にも対応できている。

☆コピー用紙使用量の削減では裏紙使用を徹底し、FAX よりメールを優先するように努めた。また、会議等はホワイトボードを利用してペーパーレス化を心がけた。

☆水の使用量については、高圧洗浄機での洗車を行い、水の効率的使用で節水を徹底した。

☆グリーン購入の推進にあたり、品目の調査をし、優先して購入した。品目数も 10 品目となり、環境への負荷軽減の意識がより強くなっている。

☆清掃活動は、コミュニケーションの1つとなり、全員で目標を達成するという団結力につながった。

## 5.2 2019 年度活動についての今後の課題

毎年コピー用紙使用量の厳しい月がある。

また、冬場の暖房器具による電気使用量が増加する傾向にある。

さらに、清掃活動の頻度が事業活動に支障をきたすことが懸念されることがあった。コミュニケーションの一端を担ってきた清掃活動の重要性は高い為、引き続き、頻度を変更して続けていきたい。

災害や社会情勢の変化による廃棄物処理の重要性を認識し、しっかりと目標達成に努めていく必要がある。

燃料使用量、埋め立て量、グリーン購入に関しては引き続き、目標を達成できるようにレベルアップしたい。

## 6 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はなかった。また関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

## 7 内部監査・外部監査の報告

### 7.1 内部監査

実施日 :2019 年 10 月 18 日

範囲 :本社

チーム編成 :内部監査員 2 名 ※みちのく EMS 内部監査員養成講座修了

結果の報告 :問題なく運営されていた。

### 7.2 外部審査(みちのく EMS)

実施日 :2018 年 12 月 4 日 (2019.1.15 記)

審査結果 :不適合 0 件、改善事項 0 件、観察事項 0 件、推奨事項 0 件

## 8 最高責任者による全体の評価見直しの結果

### 8.1 全体評価

2018 年度の環境マネジメントシステムは、意識を高め、工夫をしながらスムーズに運用され、現時点で見直す点はない。

2019 年度もこのシステムを継続し、環境負荷低減に向けて推進すること。

### 8.2 見直し評価

環境方針の変更の必要性は継続する

## 9 コミュニケーション

平成 30 年 12 月 11 日 宮城県産業資源循環協会主催の不法投棄防止啓発活動の研修会に参加  
(2019.1.15 記)

以上